

さくらほっと NEWS

vol.37
平成28年秋号

患者サポートセンターの中心メンバー

後列左から水野主査(薬剤師)、山口主査(社会福祉士)、松本主査(看護師)
前列左から村田師長(看護師)、吉田地域医療連携センター長(医師)、藤原主査(看護師)



患者さんへの
相談体制の強化のため
「患者サポートセンター」を開設 …2

名市大病院のチカラ vol.5 ……3
乳がん検査のスペシャリスト
『検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師』…4
市民公開講座・セミナーのご案内
ご寄附のお願い(さくら基金)

平成28年10月1日より初診料加算額の変更及び再診料加算額の新設をいたします。

	平成28年9月まで	平成28年10月より
初診料 加算額	4,000円 (税別)	5,000円 (税別)
再診料 加算額	—	2,500円 (税別)

健康保険法の改定に伴い、医療機関の役割分担と連携を推進するため「紹介状をお持ちでない初診の患者さん」には初診料加算額を、「症状が安定し地域の診療所等で診察が可能となった再診の患者さんの中で、引き続き当院での診療を継続される方」には再診料加算額をそれぞれ請求させていただくこととなりました。

当院では皆さまのかかりつけ医と連携し、より適切な医療の提供を行ってまいります。

患者さんへの相談体制の強化のため 「患者サポートセンター」を開設

当院は、入院に関する手続きを集約させた「入院支援センター」や、退院支援・相談支援・かかりつけ医相談を統合し「地域医療連携センター」を設置するなど、組織の機能強化を図ってまいりましたが、さらなる患者さんの利便性向上のため「患者サポートセンター」を6月に開設しました。

入院から退院後の療養生活に必要な相談をワンストップで提供

当センターの特長は、入院の案内に関することから、入院中・退院後の療養生活のために必要な相談をワンストップで受けられることです。また、センターの看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー及び事務職などが緊密な連携を取ることで、患者さんが必要とする情報を必要な時に迅速に提供できるようにもなります。

入院することになった患者さんの中には、さまざまな不安や悩みを抱えられる方がいらっしゃると思いますが、そのような時には、是非当センターを積極的にご利用いただきたいと思っております。



吉田地域医療連携センター長



主な相談内容

業務	内容	対応者
入院支援	入院に関する案内、手術・検査オリエンテーションと入院当日の受付、他院からの転院調整を行います。	看護師 事務職員
おくすりの確認	入院中の治療を安全に行うために、入院予定の患者さんのおくすりやサプリメント等の確認を行います。	薬剤師
療養相談	患者さんが円滑に退院できるように、看護師や医療ソーシャルワーカーが地域の医療機関や介護事業者などと連携を図りながら、退院支援・転院支援を行います。また、在宅医療や在宅看護支援など在宅療養に関する相談なども行います。	看護師 医療ソーシャルワーカー 事務職員
医療福祉相談	公費負担制度やその他福祉制度に関する相談や介護保険制度に関する案内を行います。	看護師
かかりつけ医相談	かかりつけ医や紹介元医療機関を持たない患者さんに対して、患者さんの状態に合った地域の医療機関を紹介します。	看護師

センターの場所と業務時間

外来診療棟 1階

形成外科
脳神経外科
麻酔科
105
外科
整形外科
外来受付

患者サポートセンター
Patient Support Center

入院支援・療養相談・医療福祉相談
平日 8時30分～17時00分

かかりつけ医相談
平日 8時30分～16時00分
(土日祝日、年末年始を除く)

名市大病院のチカラ Vol. 5

整形外科

5つの分野それぞれが高度かつ専門的な医療を提供



整形外科
大塚部長

当院の整形外科は、「腫瘍・関節・小児・脊椎・手外科」の5つの分野に分かれ、高度かつ専門的な診療を行っています。

腫瘍分野では、悪性軟部腫瘍に対し力を入れています。放射線治療・温熱療法・化学療法を活用し、腫瘍を縮小させてから手術を行うことで、できる限り手術後の生活に支障が出ないよう努めています。

関節分野では、オーダーメイド人工股関節や、より正確で安全な手術が実現できるナビゲーションシステムを活用することで、患者さん個々に合った人工関節手術を行っています。また、肩や膝の疾患に対しては、関節鏡を用いて、患者さんの負担が少ない手術(以下、低侵襲手術)も行っています。

小児分野では、小児の股関節や足の疾患を中心に診療を行っており、お子さんが生涯を通して最良のQOL(生活の質)を得られるよう心がけています。

脊椎分野では、椎間板ヘルニアなどの腰椎疾患

に対して、内視鏡や顕微鏡を用いた低侵襲手術を行うとともに、疾患に応じて積極的にインスツルメント(医療用内固定器具)を併用することで、より早い回復が実現できるよう努めています。

手外科分野では、上肢の様々な疾患を治療し、マイクロサージャリー(手術用双眼顕微鏡)を応用した機能再建術を行っています。また、手指の良性骨腫瘍に対しては、最低侵襲手術である鏡視下手術を開発し、良好な実績をあげています。

以上のように、5つの分野それぞれが最新の治療法を取り入れ、患者さんに最良の治療を提供できるよう、日々研鑽を積んでいます。



脊椎手術にはこれだけ多くの機材を用います

放射線科

最新鋭の機器を取り揃え、最高レベルの放射線治療・画像診断を実施



放射線科
芝本部長

放射線科医の仕事は、主に放射線治療と放射線診断に分けられます。

放射線治療では、最新鋭の治療装置「TomoTherapy」と「TrueBeam」を駆使して、定位放射線治療、強度変調放射線治療(IMRT)、強度変調回転照射(VMAT)、画像誘導放射線治療(IGRT)を行っています。これらの放射線治療では、前立腺がん、非小細胞肺癌(1期)、食道がん、子宮頸がん、良性の脳腫瘍などに対して、手術と変わらない効果を得られることが確認されています。

放射線診断においても、dual source CTや3.0T MRIなどの最新鋭の機器を取り揃えており、最先端の画像検査を行うことができます。中でも、今年6月から稼働しているMR検査機器「Ingenia 1.5T MR-RT sim」は、日本で初めて導入したもので、これまで以上に高精度の放射線治療計画を作成することができます。

また、画像下治療(IVR)にも力を入れています。この治療は、主にX線画像を見ながらカテーテルを使い、がんや動脈瘤を治療するものであり、皮膚を数ミリ程度切れば行える治療であるため、患者さんの身体への負担が非常に少ない治療法です。

以上のように、当院は全国トップクラスの放射線治療・画像診断を提供できる体制を備えています。今後も患者さんの負担の少ない、最高レベルの医療が提供できるよう取り組んでまいります。



国内で初めて導入したMR検査機器「Ingenia 1.5T MR-RT sim」

乳がん検査のスペシャリスト「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」

中央放射線部

年々患者数が増加している乳がん。その乳がんを発見するための主な検査のひとつに「マンモグラフィ検査」がありますが、今回はその検査を担うスペシャリスト「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」をご紹介します。

マンモグラフィ検査

マンモグラフィ検査とは、乳がんなどの病気を検査する目的で乳房を圧迫しながら撮影するX線検査です。圧迫することで乳腺の重なりが減り、がんなどの病変が分かりやすくなるだけでなく、被ばく量を減らせるメリットもあります。当院では、この検査の全てを女性技師が担当しています。



マンモグラフィ検査の様子
(写真撮影のため特別に服を着ています。)

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師とは、マンモグラフィ検査の撮影技術や画像を読み取る力、乳房に関する知識などを十分備えていると認められた者に対し、日本乳がん検診精度管理中央機構から与えられる資格です。当院にはこの認定技師が6名在籍しており、医師が正確な診断をするために必要な高精度の検査画像を提供しています。



検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師の皆さん
彼女たちの努力によって高精度な検査画像が日々作成されています。

今後も乳腺外科の医師等と協力しながら、乳がんの早期発見に取り組んでまいります。

※当院は「マンモグラフィ検診施設画像認定」を受けています。

市民公開講座・セミナーのご案内

市民公開講座

日付	時間	会場(定員)	診療科	講演者	タイトル	問い合わせ先
9月25日(日)	13:30~16:00	3階 大ホール (300名)	腎臓内科	未定	腎不全にならないためには	名市大大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学 TEL:052-853-8221
10月9日(日)	14:00~15:45	さくら講堂 (250名)	乳腺外科 形成外科 化学療法部	部長 遠山 竜也 部長 鳥山 和宏 副部長 黒田 純子	乳がんなんて怖くない!	事務局学術課 公開講座担当 TEL:052-853-8308 ※事前申込制・有料(500円)
10月30日(日)	13:30~15:30	3階 大ホール (300名)	循環器内科	副部長 山下 純世 杉浦 知範	高血圧の管理と健康長寿	名市大大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学 TEL:052-853-8221
11月20日(日)	10:30~12:10	3階 大ホール (300名)	消化器内科	未定	炎症性腸疾患に関する医療講演会	名市大大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 TEL:052-853-8211

患者情報ライブラリーセミナー

日付	時間	会場(定員)	診療科	講演者	タイトル	問い合わせ先
8月24日(水)	14:00~14:30	地下1階 患者情報ライブラリー (40名)	神経内科	助教 大村 真弘	十か条に学ぶ脳卒中の予防と治療	患者情報ライブラリー

※次回(12月開催)については当院ホームページ上でお知らせします。

10月9日(日)開催分を除き、全て事前申込不要(先着順)・費用無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

ご寄附のお願い(さくら基金)

当院では「さくら基金」を設置し、寄附のご支援をお願いしています。皆様から寄せられた寄附金は、診療研究、人材育成、医療環境の充実などに活用させていただきます。

当基金の趣旨をご理解いただくとともに、皆さまのご支援をお願い申し上げます。

病院事務課

問い合わせ先
病院事務課病院経営係
TEL 052-858-7113(直通)
※インターネットもご利用いただけます。